

INFORMATION

プラネタリウム

星座の歴史をたずねて

メソポタミアの遊牧民が作ったとされる星座が、現在の姿になるまでの歴史をたどります。番組中には今夜の星空の生解説もあります。

平日	17:30
冬休み平日	11:30 14:30 17:30
土曜	11:30 14:30 17:30
日・祝日	11:30 14:30

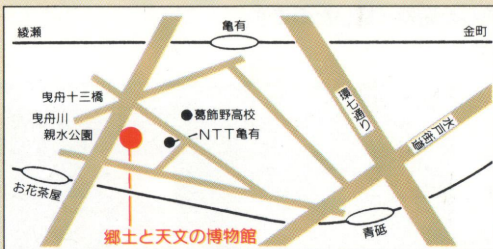
全天周映画

ロスト・アニマルズ

絶滅してしまった生物を求めて過去へタイムトラベル。コンピュータグラフィックスでよみがえった恐竜がドームいっぱいに迫ります。

平日	16:00 19:00
冬休み平日	10:00 13:00 16:00 19:00
土・日・祝	10:00 13:00 16:00

交通のご案内



MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

土曜の夜だけの特別プログラム。最新鋭プラネタリウムによる満天の星空と心地良いサウンド、そして宇宙の話題が織りなすファンタジックなひとときをお楽しみください。

土曜	19:00
	10月1・8・22・29日
	11月5・19・26日
	12月3・17・20・21・22・24日

12月20日(火)~24日(土)は、クリスマス・スペシャルです。

■料金 (入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児50円

■休館日

月曜日 (祝日は開館) / 第2・4火曜日
1月11日(水)~13日(金)のプラネタリウム・
全天周映画は番組入替のため休演。

■上映15分前までにこ来館ください。

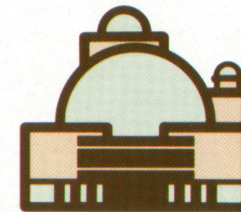
 葛飾区郷土と天文の博物館
〒125 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101



PLANETARIUM

星座の歴史をたずねて / 今夜の星空

Vol. 14 1994・秋-冬



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

天高く、ペガサスの四辺形。



■ペガサスは秋を連れて

宵の東の空、大きな四辺形が秋の訪れをつげるように昇ってくる。よく目立つこの四辺形から西へと星を結んでいけば、秋の代表的な星座・ペガサス座を描くことができる。勇士ペルセウスがあつた怪物メドゥサの首をはねたとき、吹き出た血が岩に染み込み、そこから沸きでるよう飛び出した天馬・Pegasusがギリシャ神話として伝えられている。東京ではちょうど四辺形の中央あたりが天頂を通るので、天馬ペガサスが秋から初冬にかけて、空高く舞うその雄姿にふさわしい眺めを見ることができる。

■秋の夜空のみちしるべ

この四辺形はいろいろな使い方ができる。例えば馬の前方の一辺と後方の一辺をそのまま北へ伸ばすと、偶然にも北極星付近で交わってくる。方角を知りたいときに便利である。また前方の一辺を南へ伸ばすと、みなみのうお座の1等星フォーマルハウトにとどく。四辺形の一辺の大きさは約15°なので夜空を測るいい目安にもなっている。

この季節、星空を仰ぐときはまずこのペガサス座を見つけるとよい。そこからまわりの星座を見つけていけば、秋から冬にかけての星空がより分かりやすいものになるだろう。

星座の歴史をたずねて

■羊飼いがつくり、詩人が育てた星座

星座のおこりは古代メソポタミア地方であるといわれています。今から4000年以上も昔、この地の遊牧民によって現在の星座の原形が生み出されました。

その後星座はフェニキア人によってギリシャに受け継がれ、ギリシャの神話や伝説と結びつきます。ギリシャ時代の数多くの詩人たちの神話が、現在私たちが星座に抱くロマンチックなイメージを作ったのです。

2世紀にはギリシャの天文学者・プトレマイオスによって48の星座が集大成されました。有名な星座のほとんどがこの48個の中に含まれています。



■星座戦争!

その後1500年もの間、プトレマイオスの48星座が変わることなく伝えられて来ました。しかし、16世紀になると、それだけでは足りない事態が起こります。

まず、大航海時代の幕開けにより、それまでなかった南半球の星座を作る必要がでてきました。さらに望遠鏡の発明により、今まで星がないと思われていたところにも星があることがわかり、天文学者によって新しい星座が加えられるようになりました。

こうして、新しい星座は自由勝手に創られては消えていく、まるで天文学者が領地争いをするかのごとく、混沌とした時期が続いたのです。



パリットの星図。うみへび座の尻尾に、現在はない「ふくろう座」の姿がある。

■結局夜空は固まってしまった

これに終止符を打ったのは今世紀初頭のことです。1922年、当時の国際天文同盟によって、全天の星座は88個と定められ、その境界線も決められたため、長く続いた星空の不統一は終わりました。これが現在私たちが使っている星座です。しかし、きちんと整頓されたために、夜空に自由に絵を描く想像力を、私たちは忘れてしまっているような気がします。



「星座の歴史をたずねて」
ナレーター 渡辺篤史